

大鹿村中央構造線博物館たより 116号



今年も
ヨロシク!

2019年1月発行
TEL/FAX:(0265)39-2205 E-MAIL:mtl-muse@osk.janis.or.jp

鹿塩地区の断層鞍部・断層丘陵

2018年11月12日(月)、大鹿中学校1年生の理科授業「中央構造線学習」を実施しました。毎年、安康露頭に行くのが恒例になっていましたが、今年は国道152号線地蔵峠付近通行止めで、安康露頭まで行かれないため、今年は、北川露頭に行った後に、中央構造線に沿って南下するというルートになりました。

鹿塩地区の中央構造線は、ほぼ鹿塩川に沿って南北に通っていますが、詳しくみると、川よりは少し東側を通っています。中央構造線の近傍は、岩が脆くて、侵食されやすいため、中央構造線が斜面を横切っているところでは、馬の鞍のような地形ができます。これを断層鞍部といいます。また、鞍部より斜面下方の小高い丘の部分を断層丘陵といいます。図1のように、昔の秋葉街道は、断層鞍部を縫うように通っていました。

授業当日は、時間がなくて、寄れなかった場所もありましたので、今回の博物館たよりでは、鹿塩地区の断層鞍部6箇所を一挙に紹介いたします。断層丘陵の上には、石碑や神社があることも多いので、新年のお参りを兼ねて、訪れてみるのも良いかもしれません。

塩川より北では、図2のように、国道152号線が、断層鞍部を通っている場所がいくつかあります。このあたりの断層丘陵は、断層鞍部からの比高数メートル程度で、楕円形をしています。儀内路の断層丘陵は、国道からも小高い丘の形がよく見えます。高安の断層丘陵は、国道のすぐ上のあたりにいくつか石碑が立って

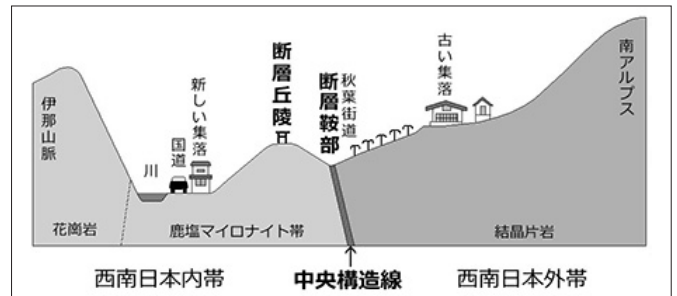


図1 中央構造線と断層鞍部・断層丘陵(河合断層鞍部看板より抜粋)

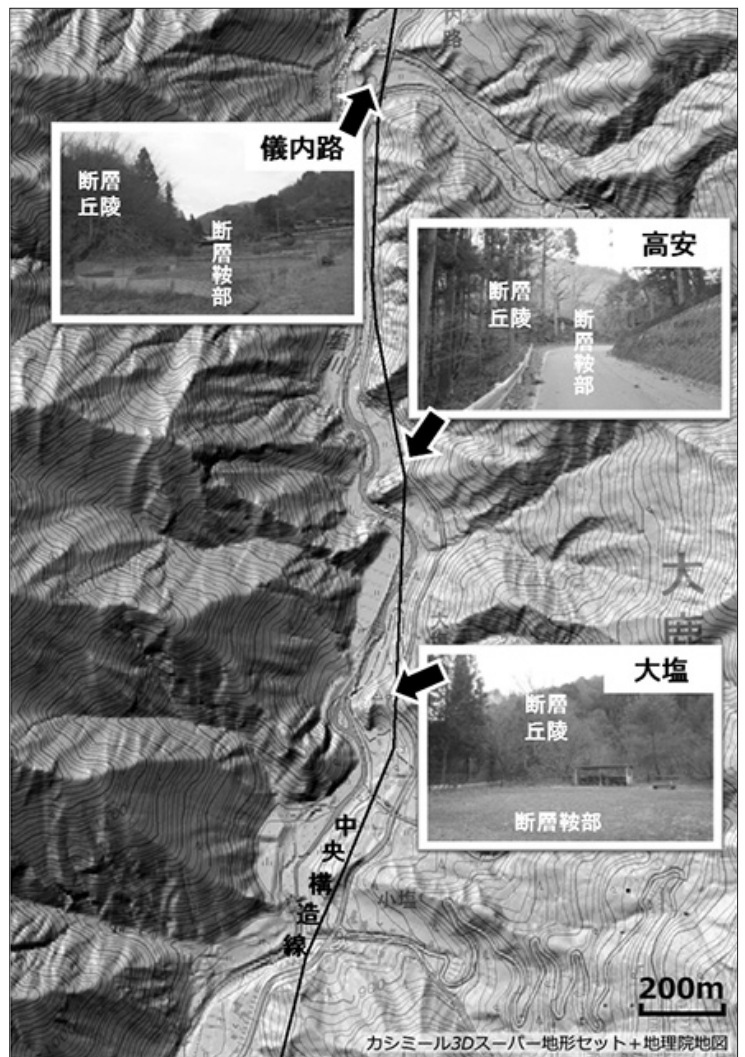


図2 鹿塩地区の断層鞍部・断層丘陵マップ1(儀内路-大塩)

います。大塩の断層丘陵は北入のゲートボール場の奥に位置しています。

塩川より南では、図3のように、鹿塩川がだいぶ西よりに流れていくため、中央構造線は、川からだいぶ離れたところを通っており、このあたりの断層丘陵は、断層鞍部からの比高が数十メートルとなります。城山の断層丘陵の上からは、鹿塩川の南北の谷がよく見えます（写真1）。河合の断層丘陵の上には、小さな社と石碑があります。居森山の断層丘陵の上には、立派な神社があります。また、断層鞍部は、写真2では、2箇所あるように見えます。これはおそらく平行して2本の断層があるためと考えられますが、左側の鞍部が中央構造線の地質境界断層です。（宮崎）



図3 鹿塩地区の断層鞍部・断層丘陵マップ2（城山－居森山）



写真1 城山断層丘陵から見た中央構造線の谷



写真2 河合断層鞍部から見た居森山